

# 第33期中間事業報告書

2004年4月1日から2004年9月30日まで



**ローランド株式会社**

証券コード 7944

## ローランド企業スローガン

### 創造の喜びを世界にひろめよう BIGGESTよりBESTになろう 共感を呼ぶ企業にしよう

ローランド独自の企業活動の根底にある精神は、上記3つのスローガンに集約されます。これこそ当社の企業としての意志であり、無限の可能性を秘めた音創りの明日に向かって、果てしなく広がる、大きな夢の源にほかなりません。これからのローランドにどうぞご期待ください。

## 財務ハイライト

9月30日に終了した6ヶ月間 単位：百万円（1株当たり金額を除く）	2004年9月中間期	2003年9月中間期
売上高	37,266	31,695
経常利益	4,235	1,148
<b>連結</b> 中間純利益	1,496	245
1株当たり中間純利益（円）	59.61	9.68
総資産	71,370	70,397
売上高	16,390	15,018
経常利益	1,832	796
<b>単独</b> 中間純利益	1,282	563
1株当たり中間純利益（円）	51.08	22.24
総資産	46,371	46,188

## contents

財務ハイライト	1
株主のみなさまへ	2
営業の概況（連結）	3
中間連結財務諸表（要旨）	5
中間単独財務諸表（要旨）	7
ブランドについて	8
新製品のご紹介	9
トピックス	11
会社の概況	13
株式の状況	14

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社第33期中間期（2004年4月1日から2004年9月30日まで）の事業の概要および中間決算につき、ご報告申しあげます。

当中間期の業績につきましては、電子楽器事業では、ラインアップを一新したシンセサイザー、電子ドラムなどの新製品を中心に国内外ともに堅調に推移し、コンピュータ周辺機器事業では、溶剤系インクジェットプリンターを中心に、米国、欧州、アジアなど主要地域で大きく売上を伸ばしました結果、連結、単独決算ともに前年中間期と比較して増収、増益となりました。中間配当金につきましては、期初の予定通り、前中間期に比べて1円50銭増配の10円（年間配当金は1株につき20円の予想）とさせていただきます。

原油価格高騰等、景気の見通しは不透明ではありますが、製品力強化と業務改革によるコスト削減に努めることにより、通期目標の達成に取り組んでまいりますので、今後とも株主のみなさまのご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2004年12月



取締役社長 檀 克義

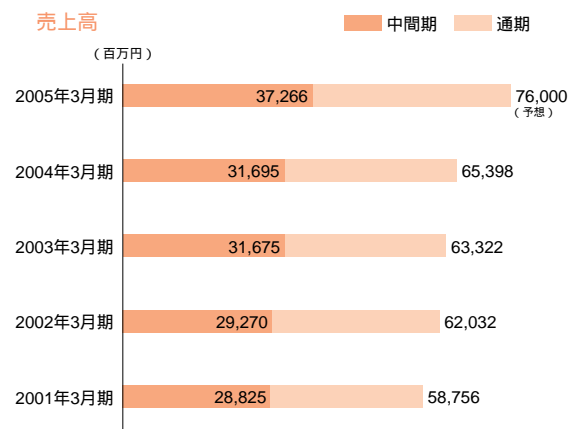
## 業績全体の概況

当中間期の経済環境は、国内においては設備投資と輸出の好調に加え、個人消費にも緩やかな回復が見られ、また欧米景気においても概ね好調に推移しましたが、原油価格高騰等により、これまでの景気持続への不安が残りました。

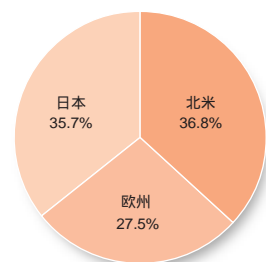
このような状況下において、電子楽器事業では、新音源搭載のシンセサイザー、ラインアップを一新した電子ドラム等の新製品を中心に、国内外ともに堅調に推移しました。

一方、コンピュータ周辺機器事業は、溶剤系インクジェットプリンターを中心に、米国、欧州、アジアなど主要地域で大きく売上を伸ばすことができました。

上記の結果、全体では売上高は37,266百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益は3,725百万円（前年同期比約4倍）、経常利益は4,235百万円（前年同期比約4倍）、中間純利益は1,496百万円（前年同期比約6倍）となりました。



所在地別売上高構成比



		(2001年3月期)		(2002年3月期)		(2003年3月期)		(2004年3月期)		(2005年3月期)	
		中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期(予想)
連結	売上高 (百万円)	28,825	58,756	29,270	62,032	31,675	63,322	31,695	65,398	37,266	76,000
	経常利益 (百万円)	920	2,304	334	2,183	940	2,405	1,148	3,654	4,235	8,000
	当期純利益 (百万円)	282	808	146	300	645	1,189	245	1,120	1,496	3,000
	1株当たり当期純利益 (円)	11.06	31.61	5.74	11.73	25.28	47.63	9.68	42.53	59.61	119.46
単独	売上高 (百万円)	15,169	29,617	13,945	28,005	14,382	28,016	15,018	29,526	16,390	31,500
	経常利益 (百万円)	344	977	180	480	592	773	796	1,013	1,832	2,100
	当期純利益 (百万円)	364	1,053	485	471	277	158	563	708	1,282	1,600
	1株当たり当期純利益 (円)	14.25	41.19	18.98	18.43	10.87	6.21	22.24	27.26	51.08	63.71

## セグメント別営業の概況

### 電子楽器事業

「電子楽器」は、堅調なギター用マルチ・エフェクターに加え、新開発音源LSIを搭載したシンセサイザー、世界初の閉閉型ハイハットを採用しパッドと音源部を一新した電子ドラム、高音質設計の小型ギター・アンプが国内外で好調に推移し、前年同期を上回りました。

「家庭用電子楽器」は、日本では機能を絞り込んだシンプルな電子ピアノ、欧州ではコンパクトなデザインの電子ピアノと自動伴奏機能付キーボードが、それぞれ堅調に推移しましたが、北米では多機能タイプの電子ピアノの売上が減少し、全体では前年同期を下回りました。

「音響機器」は、デジタル・レコーダーの高価格帯機種種の売上が減少しましたが、普及価格帯の新製品が好調に推移し、全体では前年同期を上回りました。

「コンピュータ・ミュージック関連機器他」は、直感的な編集を可能とするビデオ編集専用機の新製品を発表し話題を呼びました。また、パソコンによる音楽制作・デジタル録音に対応したUSBオーディオ機器が堅調に推移し、全体では前年同期を上回りました。

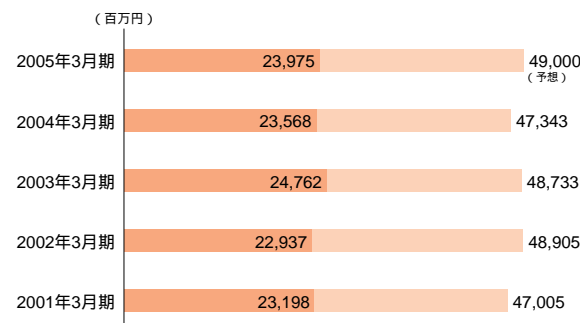
### コンピュータ周辺機器事業

コンピュータ周辺機器事業では、需要拡大が期待できる「カラー&3D」の二分野を中心に積極的な営業展開を図りました。

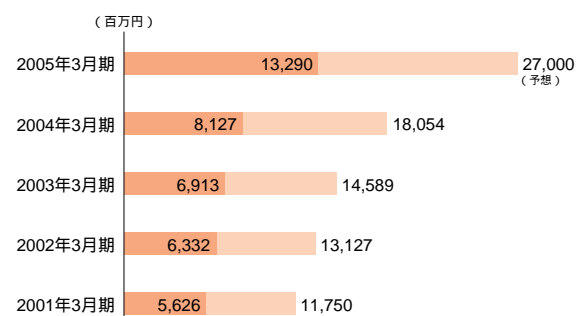
「カラー」は、屋外広告用途の需要増に応え、2003年に投入した耐候性・発色性に優れ、環境負荷を考慮した溶剤系インクジェットプリンターおよびオンデマンド印刷を可能にする中型機種が引き続き好調に推移しました。加えて多様化するユーザーの用途に対応すべく、新たに開発した特定用途向け機種も好感をもって迎えられ、サイン市場における購買層の拡大と新たな用途提案による新規顧客の獲得に努めました。

「3D」は、製造業における情報関連技術の進展に伴いものづくり工程のデジタル化への意識が浸透してきています。セミナーや内覧会を通じた導入事例の紹介による啓蒙活動や小型の3次元入出力装置による初期導入を広く展開することで、3D市場の成長に向けた環境整備を進めました。また、設計段階における試作・製作の内製化による効率化などをソリューション提案し、販売拡大に努めると共に、特定機能・市場に特化した新機種種の投入を行ないました。

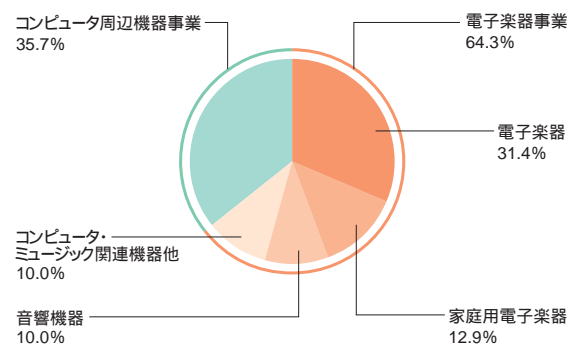
### 電子楽器事業売上高



### コンピュータ周辺機器事業売上高



事業のセグメント別売上高構成比



中間連結財務諸表 要旨)

連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期	科 目	当中間期	前中間期	前 期
	2004年9月30日現在	2003年9月30日現在	2004年3月31日現在		2004年9月30日現在	2003年9月30日現在	2004年3月31日現在
資産の部				負債の部			
流動資産	45,815	43,729	41,345	流動負債	11,613	12,146	9,422
現金及び預金	18,277	18,342	15,166	支払手形及び買掛金	4,149	3,779	3,876
受取手形及び売掛金	9,350	9,028	9,808	短期借入金	1,577	3,556	1,409
たな卸資産	13,699	12,876	12,201	その他	5,885	4,810	4,135
その他	4,927	3,992	4,584	固定負債	1,593	1,081	1,457
貸倒引当金	438	510	415	負債合計	13,206	13,227	10,879
固定資産	25,555	26,668	25,554	少数株主持分			
有形固定資産	15,402	15,944	15,411	少数株主持分	9,171	8,549	8,151
建物及び構築物	7,446	7,927	7,601	資本の部			
工具器具備品	1,670	1,763	1,614	資本金	9,274	9,274	9,274
土地	5,400	5,414	5,399	資本剰余金	10,800	10,800	10,800
その他	884	839	796	利益剰余金	31,587	29,725	30,384
無形固定資産	1,344	1,153	1,261	土地再評価差額金	1,295	1,295	1,295
投資その他の資産	8,808	9,569	8,881	その他有価証券評価差額金	221	199	273
投資有価証券	3,321	3,121	3,371	為替換算調整勘定	917	167	892
その他	5,543	6,505	5,568	自己株式	676	251	676
貸倒引当金	56	57	59	資本合計	48,993	48,619	47,868
資産合計	71,370	70,397	66,900	負債、少数株主持分及び資本合計	71,370	70,397	66,900

連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(2004年4月1日から 2004年9月30日まで)	(2003年4月1日から 2003年9月30日まで)	(2003年4月1日から 2004年3月31日まで)
売上高	37,266	31,695	65,398
売上原価・販売費及び一般管理費	33,540	30,677	61,812
営業利益	3,725	1,018	3,586
営業外収益	595	401	681
営業外費用	85	272	613
経常利益	4,235	1,148	3,654
特別利益	29	197	191
特別損失	79	74	265
税金等調整前中間(当期)純利益	4,185	1,271	3,580
法人税、住民税及び事業税	1,888	742	1,556
法人税等調整額	289	22	95
少数株主利益	1,089	306	999
中間(当期)純利益	1,496	245	1,120

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(2004年4月1日から 2004年9月30日まで)	(2003年4月1日から 2003年9月30日まで)	(2003年4月1日から 2004年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,230	729	2,128
投資活動によるキャッシュ・フロー	972	1,686	3,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	164	225	2,498
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	228	79
現金及び現金同等物の増加又は減少( )額	3,110	503	3,678
現金及び現金同等物の期首残高	15,166	18,845	18,845
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	18,277	18,341	15,166

連結剰余金計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(2004年4月1日から 2004年9月30日まで)	(2003年4月1日から 2003年9月30日まで)	(2003年4月1日から 2004年3月31日まで)
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高	10,800	10,800	10,800
資本剰余金増加高	-	0	0
自己株式処分差益	-	0	0
資本剰余金中間期末(期末)残高	10,800	10,800	10,800
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高	30,384	29,719	29,719
利益剰余金増加高	1,496	245	1,120
中間(当期)純利益	1,496	245	1,120
利益剰余金減少高	294	239	454
配当金	251	215	431
役員賞与	43	23	23
利益剰余金中間期末(期末)残高	31,587	29,725	30,384

連結決算の範囲

(当中間期) (前中間期) (前期)

連結子会社	国内	5社	6社	6社
	海外	15社	15社	15社
持分法適用関係会社	海外	3社	3社	3社



中間単独財務諸表 要旨)

貸借対照表 (要旨)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	2004年9月30日現在	2003年9月30日現在	2004年3月31日現在
資産の部			
流動資産	18,496	17,359	17,036
現金及び預金	8,161	8,428	6,734
受取手形及び売掛金	4,766	4,052	4,670
たな卸資産	2,979	2,607	2,795
その他	2,608	2,284	2,856
貸倒引当金	20	14	20
固定資産	27,874	28,828	28,370
有形固定資産	9,588	9,891	9,684
建物	4,327	4,584	4,438
工具器具備品	718	757	712
土地	4,136	4,136	4,136
その他	406	414	397
無形固定資産	350	412	370
投資その他の資産	17,936	18,524	18,315
投資有価証券	13,356	11,946	13,628
長期貸付金	1,002	1,488	1,056
その他	4,207	5,602	4,171
貸倒引当金	630	512	541
資産合計	46,371	46,188	45,407

損益計算書 (要旨)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(2004年4月1日から 2004年9月30日まで)	(2003年4月1日から 2003年9月30日まで)	(2003年4月1日から 2004年3月31日まで)
売上高	16,390	15,018	29,526
売上原価・販売費及び一般管理費	15,470	14,578	29,000
営業利益	919	439	526
営業外収益	920	492	718
営業外費用	7	135	230
経常利益	1,832	796	1,013
特別利益	120	747	738
特別損失	173	790	908
税引前中間(当期)純利益	1,780	753	844
法人税、住民税及び事業税	607	210	21
法人税等調整額	109	20	115
中間(当期)純利益	1,282	563	708
前期繰越利益	268	36	36
中間配当額	-	-	215
中間(当期)未処分利益	1,551	599	528

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	2004年9月30日現在	2003年9月30日現在	2004年3月31日現在
負債の部			
流動負債	4,340	4,760	4,354
買掛金	1,658	1,523	1,892
短期借入金	500	1,502	1,000
その他	2,181	1,735	1,461
固定負債	292	225	275
負債合計	4,632	4,986	4,629
資本の部			
資本金	9,274	9,274	9,274
資本剰余金	10,800	10,800	10,800
利益剰余金	23,420	22,477	22,406
利益準備金	847	847	847
任意積立金	21,021	21,030	21,030
中間(当期)未処分利益	1,551	599	528
土地再評価差額金	1,295	1,295	1,295
その他有価証券評価差額金	215	196	268
自己株式	676	251	676
資本合計	41,738	41,202	40,777
負債及び資本合計	46,371	46,188	45,407

ブランドについて

自由な発想とスピリッツから、感動を生む「音」を創造する電子楽器の総合ブランド。

# Roland

高品位な音を生み出す独自のテクノロジーから、画期的な新製品を次々と打ち出し、世界の音楽シーンをリードする『ローランド』。世界のプロ・ミュージシャンから高い信頼と評価を得ています。ステージやスタジオで活躍しているシンセサイザーや電子ドラム、アンプをはじめ、ご家庭でも楽しめる電子ピアノや電子オルガン、業務用のアンプやスピーカーなど音響機器、そして携帯電話着信音サービスなど様々な商品を通じて「感動」をお届けしています。



伝統の技と先進技術が融合した、クラシック・オルガンのブランド。

# RODGERS

最新のデジタル技術によって、豊かなパイプオルガン・サウンド、ハーモニー、大聖堂さながらの響きを再現した、本格クラシック・オルガンのブランド『ロジャース』。全国のホテルや世界各国の教会、音楽ホールなどで採用されています。



エフェクター世界No.1のシェアを誇る、ギター関連機器ブランド。

# BOSS

エフェクター、デジタル・レコーダー、リズム・マシンなどのギター関連機器から、ギタリストの創造力を刺激する「音」をお届けしている『ボス』。世界中の有名ギター・プレイヤーや楽器ファンから信頼のブランドとして熱い支持を受け、コンパクト・エフェクター世界No.1のシェアを誇っています。



自由に創りだす喜びをお届けする、音と映像の編集機器ブランド。

# EDIROL

コンピュータ・ミュージック、ビデオ編集機器を中心に展開する『エディロール』。高品位なサウンドの音楽制作や、音と映像の編集を、多彩な製品ラインアップでサポートしています。



次代のソリューションを提案する、コンピュータ周辺機器ブランド。

# Roland

デジタル技術の力で「イメージをカタチにするブランド『ローランド ディー・ジー』。業務用大型カラープリンターや三次元入出力装置などから、さまざまなソリューション提案を行なっています。



直感的な編集を可能にした  
新開発『ダイレクト・リニア』

## ビデオ編集専用機 DV-7DLシリーズ DV-7DL PRO、 DV-7DL

“こう作りたい”というクリエイティブな作品作りの思考を止めることなく、感性や気持ちをリアルタイムにそのまま形にする、ストレス・フリーの直感編集を目指したのが、新開発『ダイレクト・リニア』編集です。DV-7DL PRO、DV-7DLはこの『ダイレクト・リニア』編集の設計思想に沿って開発。これにより、コンシューマ機器としては世界初のノンストップ・エディティングや直感A/Bロール編集、静止画を動画化する変換機能など画期的な編集機能を実現しました。高度な映像処理能力とシンプルな操作性により、ビデオ編集の制作時間を劇的に短縮するだけでなく、表現力豊かに制作者の感性や意図をビデオ作品に反映することができるまったく新しいビデオ編集専用機です。

超軽量ボディに高品位な音色を満載したエントリー・モデル

シンセサイザー

## JUNO-D (ジュノ-D)



『JUNO-D』は、シンセサイザーとして最も重要な要素である音質にこだわり、640種類もの高品位なサウンドを内蔵。また、弾き心地のよさを追求した新開発鍵盤を採用しました。5kgの超軽量ボディにライブ・パフォーマンスや曲づくりに活躍する便利な機能も満載。クオリティの高い豊富な音色や、使いやすさや持ち運びやすさ、手ごろな価格などを実現し、シンセサイザーの楽しさをより多くの方に体感していただけるエントリー・モデルのシンセサイザーです。



DJ、ダンス・ミュージック・クリエイターに  
最適な最新鋭サンプラー

サンプリング・ワークステーション

## SP-606

『SP-606』は、現代の音楽クリエイターやDJから求められている、自分のイメージした音をすぐに形にできる“即効性”を重視。さまざまなサンプル・エディット機能を備えた高性能サンプラーや、パソコンとの連携を可能にするUSB端子など、直感的に操作できる多彩な機能を搭載。最新スタイルの音楽制作からライブ・パフォーマンスまでを一台で完結できる次世代型サンプリング・ワークステーションです。



次世代のリファレンス・モニター・スピーカーに  
求められる理想を具現化

## バイアンプ・モニター DSシリーズ DS-8、DS-7、DS-5

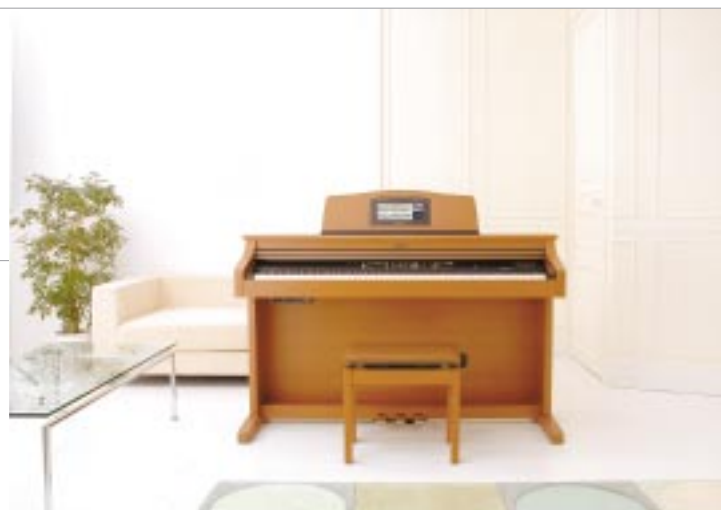


『DSシリーズ』は、色付けなく、ありのままの音を伝えることを目指し設計されたニアフィールド・パワー・モニターです。アナログ、デジタルを問わずソース本来のサウンドを再現するために、細部に至るまで高音質化へのこだわりを徹底追求。次世代の録音環境、プロフェッショナル・ユーザーのシビアな要求に応え、あらゆる録音環境に対応することができるパワー・スピーカーです。

譜面や歌詞を表示できるワイドな  
カラー液晶を搭載

## ローランドピアノ・デジタル HPi-7

曲の進行に合わせて自動的に表示される楽譜が切り替わる先進の譜面表示機能『デジスコア』を、譜面立ての大型液晶画面に搭載した『HPi-5』を2001年に発売し、好評を得てまいりました。『HPi-7』では、液晶画面を従来の2倍に拡大、カラー化し、『デジスコア』がより見やすく、使いやすくなりました。さらに、自分の演奏を目で見て確認できる、これまでにない新しいレッスン支援機能『ビジュアル・レッスン』を搭載。デジタルならではの楽しい練習機能と、グランドピアノの特性を追求した高品位な音とタッチを兼ね備えた、ピアノを弾く楽しさがひろがるデジタルピアノです。



NEW  
PRODUCT

Mac OS Xに新規搭載の  
FireWireオーディオ・ドライバに対応

## FireWireオーディオ・キャプチャー FA-101

『FA-101』は、鮮やかなレッドのコンパクト・ボディ(1U ハーフ・ラック・サイズ)に10チャンネルのアナログ/デジタル・オーディオ入力端子とMIDIインターフェースを装備したうえ、業界最高レベルの24ビット/192kHzでの同時録音/再生を実現。パソコンを使用した高品位なマルチ・トラック・レコーディングをモバイル環境でも実現する、高音質かつ高性能なオーディオ・インターフェースです。



(注) 記載されている社名、製品名などの固有名詞は、各社の登録商標または商標です。



## 企業広告積極展開

2003年9月より継続的にローランドからのメッセージ“ローランドが好きです”をテーマに新聞における企業広告活動を展開してまいりました。そして本年度、2004年4月より、もう一步踏み込んで、ローランドの企業活動の成果、商品、サービス活動を具体的に広告素材として取り上げ、“電子楽器は楽しさいっぱい、Roland”をテーマに、掲載紙を増やし、企業広告を積極的に展開。また、テレビでのCM放映（番組提供）も開始しました。より多くの方々に企業広告を通じ、ローランドという会社に対し理解を深めていただけるよう今後も努めてまいります。



6月23日(水)読売新聞掲載



4月17日(土)日本経済新聞掲載



5月8日(土)日本経済新聞掲載



6月19日(土)朝日新聞be business掲載



毎週土曜日午前8:00~9:25  
日本テレビ系列全国24局ネット  
「ウェークアップ!」にてCM放映

## 欧州販売会社再編成

通貨（ユーロ）統合後加速する欧州市場の一体化に的確に対応するため、2004年1月のドイツとオーストリアの販売子会社統合に続き、8月、ベルギーとフランスの販売子会社を統合し『ローランド・セントラル・ヨーロッパ（英語名：Roland Central Europe n.v.）』を、スペインとポルトガルの販売子会社を統合し『ローランド・イベリア（英語名：Roland Iberia, S.L.）』を設立いたしました。言語と文化を共通とする販売会社の統合により、販売体制の強化と在庫・共通経費の削減を図り、効率的な経営を行なってまいります。



Roland Central Europe n.v.



Roland Iberia, S.L.

## Roland Sound Wave 2004 開催

一昨年から実施のユーザーイベント『ローランド・シンセサイザー・ギャラリー』の発展型と、昨年好評を得たローランド電子ドラム『V-Drums』のイベントを統合。実機がたっぷりのハンズオン・コーナーと豪華出演陣によるライブ・ステージで、ローランドのシンセサイザー群と『V-Drums』の魅力、存分に体験していただく2日間『ローランド・サウンド・ウェーブ2004』を2004年7月31日、8月1日の2日間、東京・原宿クエスト・ホールにて開催いたしました。延べ1,000名のお客様が来場し、夏のロックフェスを思わせる盛況なイベントとなりました。今後もさまざまなイベントを通じ、楽器演奏の楽しさを伝えてまいります。



## 浜名湖花博協賛

しずおか国際園芸博覧会『浜名湖花博』が、浜名湖に面した『浜名湖ガーデンパーク』にて2004年4月8日から10月11日まで開催されました。当社は、浜松商工会議所110周年記念イベントに協賛し、パビリオン『浜松産業館E~RA』にローランドグループとして映像を音楽で表現する体験型の展示を出展し、ご好評をいただきました。



## ローランド・オルガンフレンドリー・コンサート2004開催

“おしゃべりするみたいに、オルガンを楽しもう”をキャッチフレーズに昨年開催し好評を博した『ローランド・オルガンフレンドリー・コンサート』。今年は、オーストラリアのトップ・オルガニスト トニー・フェネロン氏を招いて、2004年6月12日の東京を皮切りに、16日金沢、20日岡山の3カ所で開催いたしました。ローランドRMS音楽教室オルガン科指導スタッフ、『第13回RMSオルガン・ミュージックフェスティバル』全国大会入賞者も演奏を披露。シアターオルガンからクラシック、ポピュラーまでミュージック・アトリエの演奏表現の豊かさで大きな感動を呼びました。今回もまさに、身近で気取らないオルガン・コンサートとなりました。



（注）記載されている社名、製品名などの固有名詞は、各社の登録商標または商標です。

## 会社の概況

### 会社の概要 (2004年9月30日現在)

商号	ローランド株式会社 (Roland Corporation)
設立	1972年4月18日
資本金	9,274百万円
主な事業内容	電子楽器、電子機器およびそのソフトウェアの製造販売並びに輸出入
従業員数	718名

### 役員の状況 (2004年9月30日現在)

取締役社長 (代表取締役)	檀 克 義
専務取締役 (代表取締役)	新 田 寛
専務取締役	菊 本 忠 男
常務取締役	西 澤 一 朗
取締役	三 木 純 一
取締役	近 藤 公 孝
取締役	田 中 英 一
常勤監査役	庄 司 東 生
常勤監査役	河 合 保
監査役	川 島 実
監査役	前 川 三喜男

特別顧問	梯 郁太郎
会計監査人	監査法人トーマツ

(注) 監査役 川島 実氏および前川三喜男氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役です。

### 事業所

本社	大阪市北区曽根崎新地1-4-20
工場	細江工場、都田工場、伊左地工場、松本工場
研究所	浜松研究所
試験センター	都田試験センター
流通センター	浜松流通センター
営業所	札幌営業所、仙台営業所、東京営業所、名古屋営業所、大阪営業所、広島営業所、福岡営業所
音楽教室	北海道センター、首都圏センター渋谷、東海センター佐鳴台、東海センター、関西センター京都、関西センター梅田、広島センター、福岡センター
海外事業所	ロッテルダム事務所

### グループ各社 (国内)

製造	ボス株式会社
製造販売	ローランド イーディー株式会社
製造販売	ローランド テック株式会社
製造販売	ローランド アイ・ピー株式会社
販売	ローランド エス・エス株式会社
製造販売	ローランド ディー・ジー株式会社

### グループ各社 (海外)

販売	Roland Corporation U.S. Edirol Corporation North America Roland Canada Music Ltd. Roland Brasil Importação, Exportação, Comércio, Representação e Serviços Ltda. Roland Corporation Australia Pty. Ltd. Roland (U.K.) Ltd. Edirol Europe Ltd. Roland Elektronische Musikinstrumente HmbH. Roland Central Europe n.v. Electronic Musical Instruments Roland Scandinavia a-s Roland (Switzerland) AG Roland Italy S.p.A. Roland Iberia, S.L. Roland East Europe Ltd. Roland Taiwan Enterprise Co., Ltd.
製造	Rodgers Instruments LLC Roland Audio Development Corp. Roland Taiwan Electronic Music Corp. Roland Electronics Suzhou Co., Ltd. Roland Europe S.p.A.
物流	Roland (Shanghai) Logistics Co., Ltd.

## 株式の状況

### 株式の状況 (2004年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	50,000,000株
発行済株式総数	25,572,404株
自己株式数	460,238株
株主数	4,566名

### 大株主 (2004年9月30日現在)

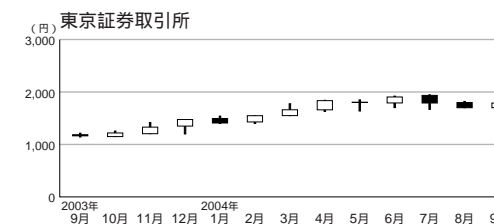
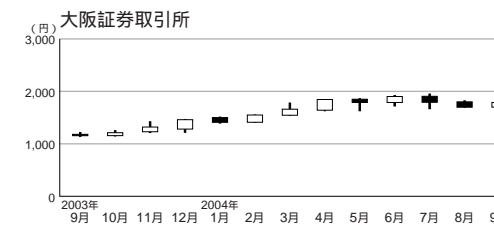
株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
梯 郁太郎	3,047	12.1
パイオニア興産株式会社	1,800	7.2
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウント アメリカンクライアント (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	1,678	6.7
財団法人ローランド芸術文化振興財団	1,585	6.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,198	4.8
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリユーエスタックス エグゼクティブアドベンションファンズ (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	725	2.9
ローランド社員持株会	714	2.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	628	2.5
株式会社りそな銀行	561	2.2
パイオニア株式会社	519	2.1

ローランドに関する様々な情報はホームページでご覧になれます。

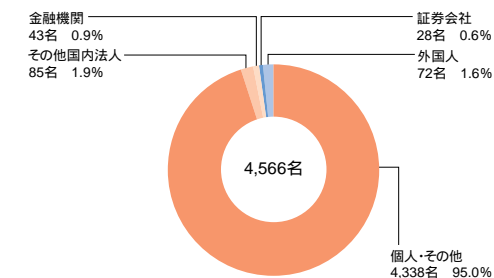
<http://www.roland.co.jp/>



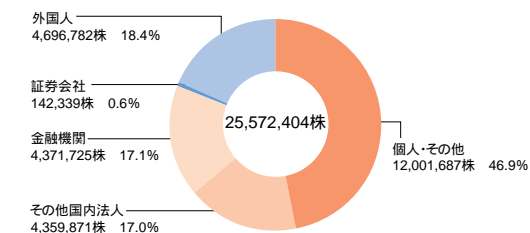
### 株価の推移



### 所有者別株主分布状況 (2004年9月30日現在)



### 所有者別株式分布状況 (2004年9月30日現在)





## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
1単元の株式数	100株
基準日	定時株主総会 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
配当金受領 株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
上場証券取引所 名義書換代理人	東京・大阪証券取引所市場第一部 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
(各種お問い合わせ)	電話 0120-255-100 株式関係のお手続用紙のご請求は次の電話番号および インターネットで24時間承っております。 電話 0120-351-465 <a href="http://www.daiko-sb.co.jp">http://www.daiko-sb.co.jp</a>
同 取 次 所	株式会社だいこう証券ビジネス 各支社

### お知らせ

住所変更、配当金受取方法の変更、単元未満株式買増し請求および買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書等のご請求は、当社名義書換代理人（株式会社だいこう証券ビジネス）にて承っておりますのでご利用ください。

### 配当金口座振込のすすめ

配当金のお受取りは、口座振込が便利です。口座振込の場合は、支払開始日に自動的にご指定口座へ入金させていただきますので、受取り忘れといったこともなくなり安心です。口座振込による配当金のお受取りをご希望の場合は、当社名義書換代理人（株式会社だいこう証券ビジネス）に「配当金振込指定書」をご請求ください。

### 決算公告のお知らせ

日本経済新聞に掲載する決算公告に代えて貸借対照表および損益計算書を当社ホームページ（<http://www.roland.co.jp/ir/index.html>）に掲載しております。



<http://www.roland.co.jp/>